

平成 28 年 12 月 20 日

狭山市長

小谷野 剛 様

川越狭山工業会
代表者 会長 石田 嵩
住所 狭山市入間川 3-22-8
狭山市商工会館 2 階
電話 04-2955-2000



要 望 書

寒冷の候、貴職におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、狭山市発展のために多大な尽力をいただいておりますことに、深く敬意と感謝を申し上げます。

さて、当会におきましては、県内有数の工業団地であることに鑑み、模範的工業団地の運営、環境整備等を目指し活動を展開しているところでございます。そうした中で、市行政に関わる課題も抱えており、行政と工業会が互いに連携を図りながら活力ある地域社会づくりを目指していきたいと考えております。

つきましては、大変ご多忙の中恐縮ですが、本要望内容について十分にご検討いただき、ご回答がまとまり次第に、日程調整の上、懇談の場を設けていただければ幸いに存じます。

何卒よろしくお願い申し上げます。

平成 28 年度 狭山市への意見要望について

産業労働センターの有効活用事業について

- (1) 埼玉県内の市町村別の製品出荷額等において、狭山市は常に上位に位置してきているが、今後も永続的に市内の製造業を維持・発展させていくためには、これまで以上に工業への支援が重要だと考えます。

狭山市の向こう 3 年間の実施計画において、地域産業の振興を目的に産業労働センターを有効活用し様々な事業開催や情報発信ということがうたわれているが、特に工業振興という視点での、具体的な事業としてどのようなことを考えておられるのかお聞きしたい。

狭山市モノづくり PR・人材確保応援事業について

- (1) 平成 28 年度の市内の工業支援事業として「狭山市モノづくり PR・人材確保応援事業」に取り組まれたことには、大変意義のある取り組みである受け止めているが、現在の事業の進捗状況ならびにその他の新たな産業（工業）政策の取り組みについてお聞きしたい。

創業支援について

- (1) 将来にわたって活力ある地域社会を維持するためには、直面する人口減少に歯止めをかけ魅力あるまちづくりを目指すことが重要だと考えます。

人口減少の抑制の観点では、次世代を担う若者が働きながら住み続けられるための環境整備、地域で活躍する中小企業の誘致育成が必要であり、産業育成、創業等に特段の配慮を図られたい。

また、平成 15 年 4 月に設立された「さやまインキュベーションセンター21（狭山市地域新事業創出基盤施設）」は設立から 13 年を経過しているが、これまでの間の実績と更なるセンターの活性化に向け狭山市としての具体的な取り組みについてお伺いしたい。

次世代の子供たちの育成支援について

- (1) 地域経済を発展させるためには、子供のころから地元の産業を身近に感じてもらい、興味を持っていただくことも重要だと考えます。

市内には優れた技術を有した企業が多数集積しており、こうしたものづくりや製造現場に直に触れていただくことで、新たな発見や気づきにつながり、ひいては地域の発展につながるものと考えます。

工業会はもとより、商工会議所、観光協会などと連携して「企業見学会等」の開催支援策を講じたらいかがでしょうか。

狭山市内における企業誘致について

- (1) 狭山工業団地拡張地区基盤整理事業について、現在狭山工業団地を東西に拡張する2地区について基盤整備が進められており、平成29年度から都市計画変更手続きを開始し、平成32年度の企業操業開始を目指していると聞いている。

地域経済の発展と雇用機会を拡大するためには、特にモノづくり企業（製造業）の誘致が有効的であると考えますが、現在の推進状況と今後の計画について聞きたい。

また、新たな企業誘致と合わせ、既存企業の市内への引き留め策も大変重要と考えるが、現時点で取り組んでいるものや今後の計画等ございましたらお聞かせいただきたい。

災害発生に伴う情報提供について

- (1) 本年は8月の台風9号による集中豪雨で不老川が氾濫し家屋への浸水被害、またこれまで経験のなかった鉄道への多大な被害により、鉄道が一時不通となり通勤の足にも大きな影響を与える事態となった。

特に鉄道の運行情報や道路の交通情報の詳細が分からず、帰宅時の混乱が生じた経験を踏まえると、規模に関わらず災害発生時の交通機関、道路情報を一元管理し情報提供することで市民のスムーズな行動につながり、二次災害等の未然防止にも寄与できるものと考えますが、市としての考えをお聞きしたい。

アダプトプログラムの推進について

- (1) 当会では、毎年アダプトプログラム事業として西武線沿線（新狭山駅～南大塚駅間北側）の道路脇の清掃・除草活動及びパンジーを植える活動を実施しております。

しかし、本年は特に外来種のナガミヒナゲシが急激に増殖していることから、今後のアダプトプログラム事業の継続を危惧しているところであります。

市内では、毎年5月頃になると至るところでナガミヒナゲシが咲いているのを見かけますが、市としてこのような外来種対策について、どのような取り組みをされているのかお聞かせください。

また、花に限らず市内には外来植物や魚類、動物が急激に増えていますが、最近の外来種対策、国、近隣市町村との連携事業等がございましたらお聞かせください。

公職選挙における投票率向上施策について

- (1) 16夏参議院議員選挙から、選挙権年齢が20歳から18歳への引き下げが適用になり、若者の政治への関心を高める取り組みが行われた。また、先の参議院選挙に於いて、県内他市では期日前投票所をショッピングセンターに設置したところ、投票率の底上げになったとの報道がございました。県内では大型ショッピングモール内に期日前投票所を設置しているところも多数見受けられます。

狭山市に目を向けてみると、県内でも決して投票率が高いとは言えず、小中学校の統廃合等の影響から投票所自体が減少している中で、期日前投票所は市役所エントランスと市民会館の2か所であり、市内の大型ショッピングモール内などに設置することで、買い物等のついでに期日前投票が可能となり、更なる投票率の向上に寄与するものと考えますが、市としての考えをお聞きしたい。